

I T S 公道実証実験の概要

1. I T S 公道実証実験の仕組み

I T S 公道実証実験におけるドライバーへの情報提供サービスを実現するための基本的な仕組みは下図の通りです。

で、道路状況等をセンシング
で、ドライバーに情報を提供

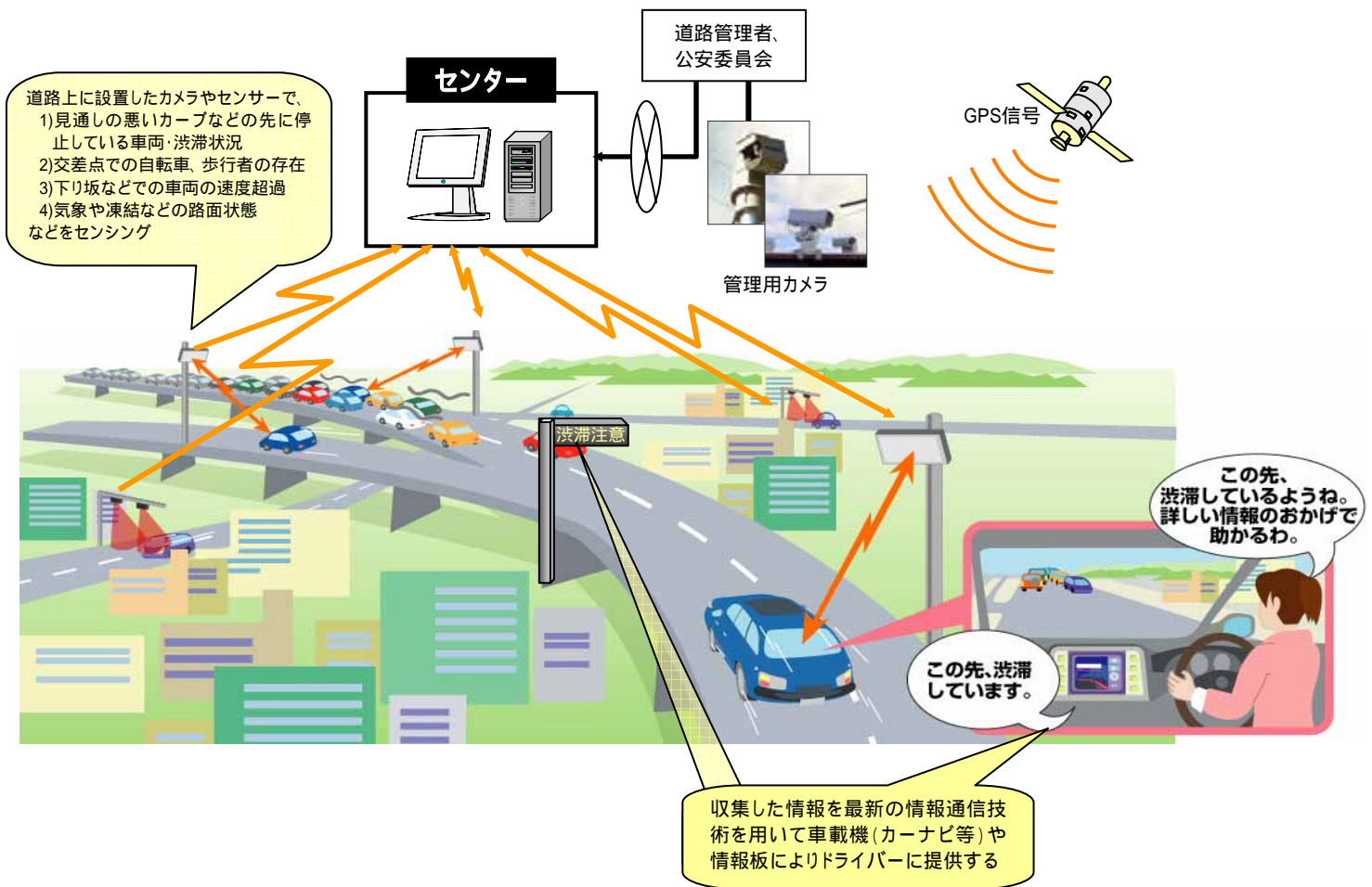
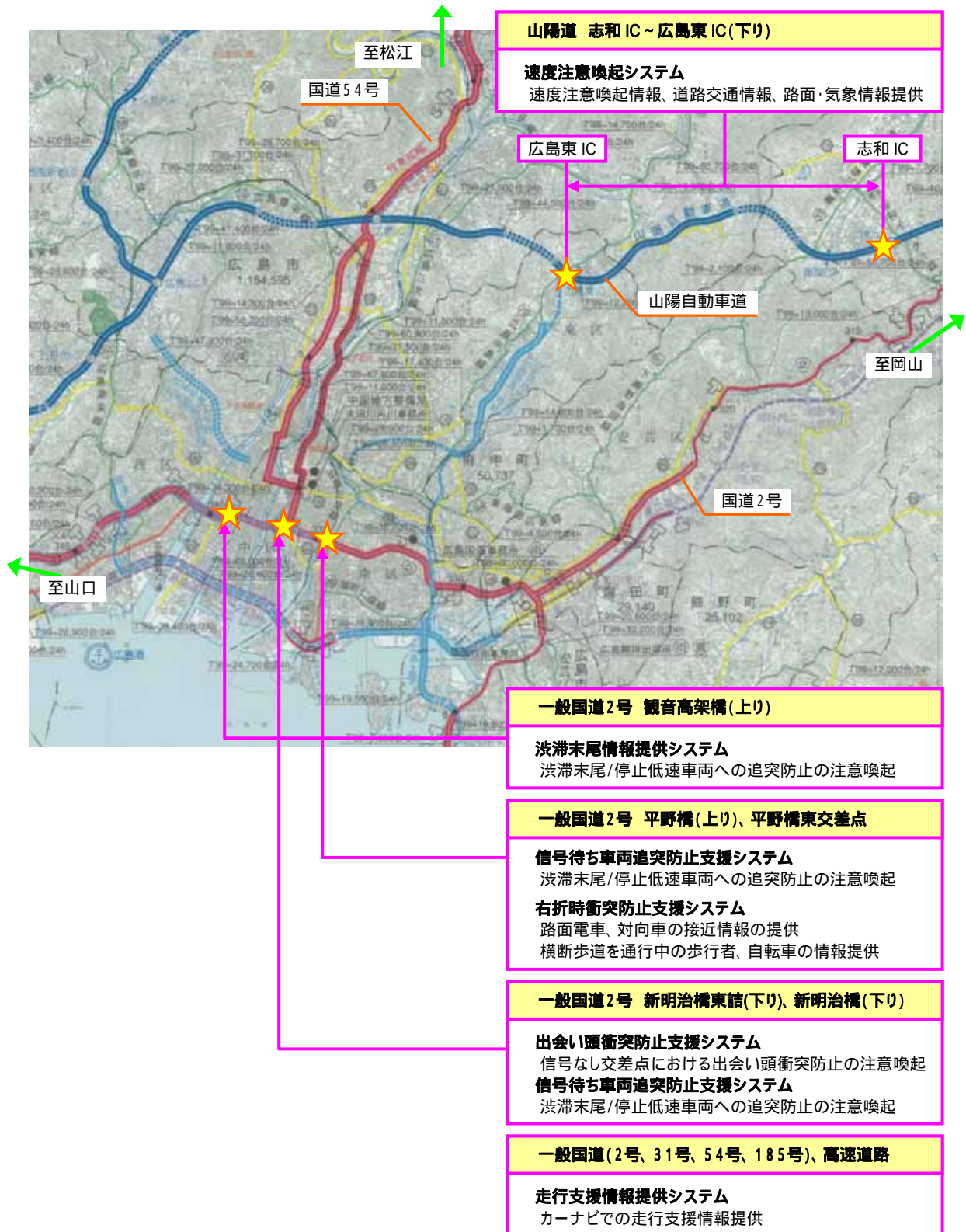


図 道路情報提供サービスイメージ

2. 実証実験箇所

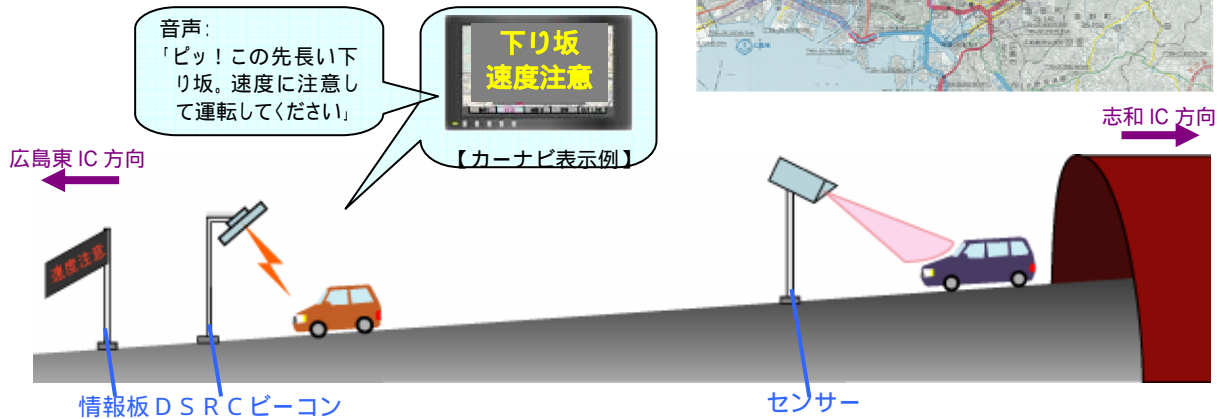


3. 箇所毎の実験メニュー

山陽道（下り）志和 IC～広島東 IC 間

【速度注意喚起システム】

速度の上がりやすい区間で、車速をセンサー等で検知し、速度超過の注意喚起を促す。また、併せて路面の温度や状況（湿潤等）に関する情報を提供する。

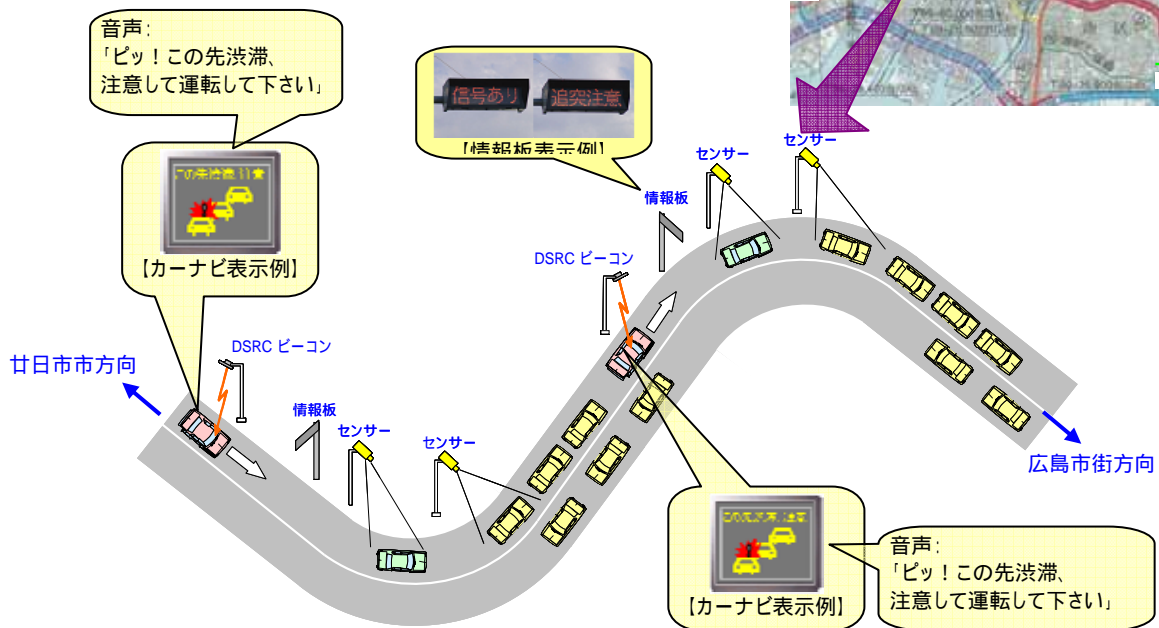


カーナビへの提供内容、情報板の表示内容については現在調整中

一般国道 2 号（上り）観音高架橋

【渋滞末尾情報提供システム】

見通しの悪い区間で前方に存在する停止・低速車両をセンサーで検知し、その情報を後続車に道路情報板で提供するとともに DSRC ビーコンにより車載機に提供し、注意喚起を行う。

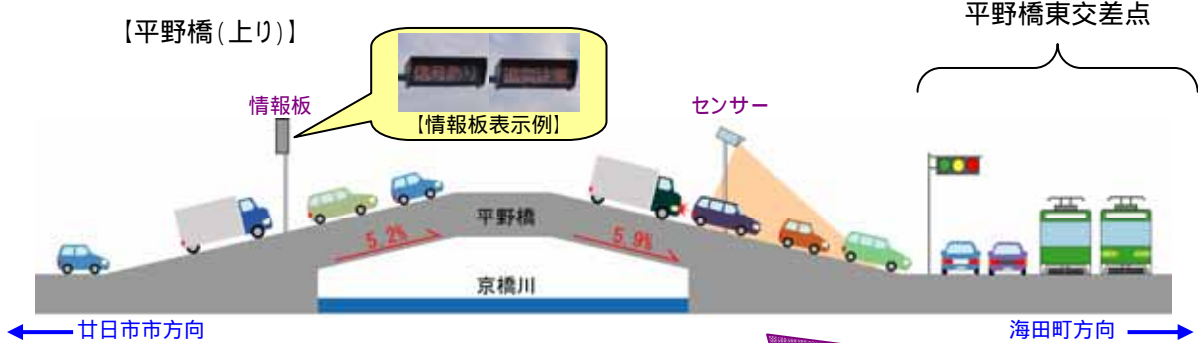


カーナビへの提供内容、情報板の表示内容については現在調整中

一般国道2号 平野橋(上り)、平野橋東交差点

【信号待ち車両追突防止支援システム】

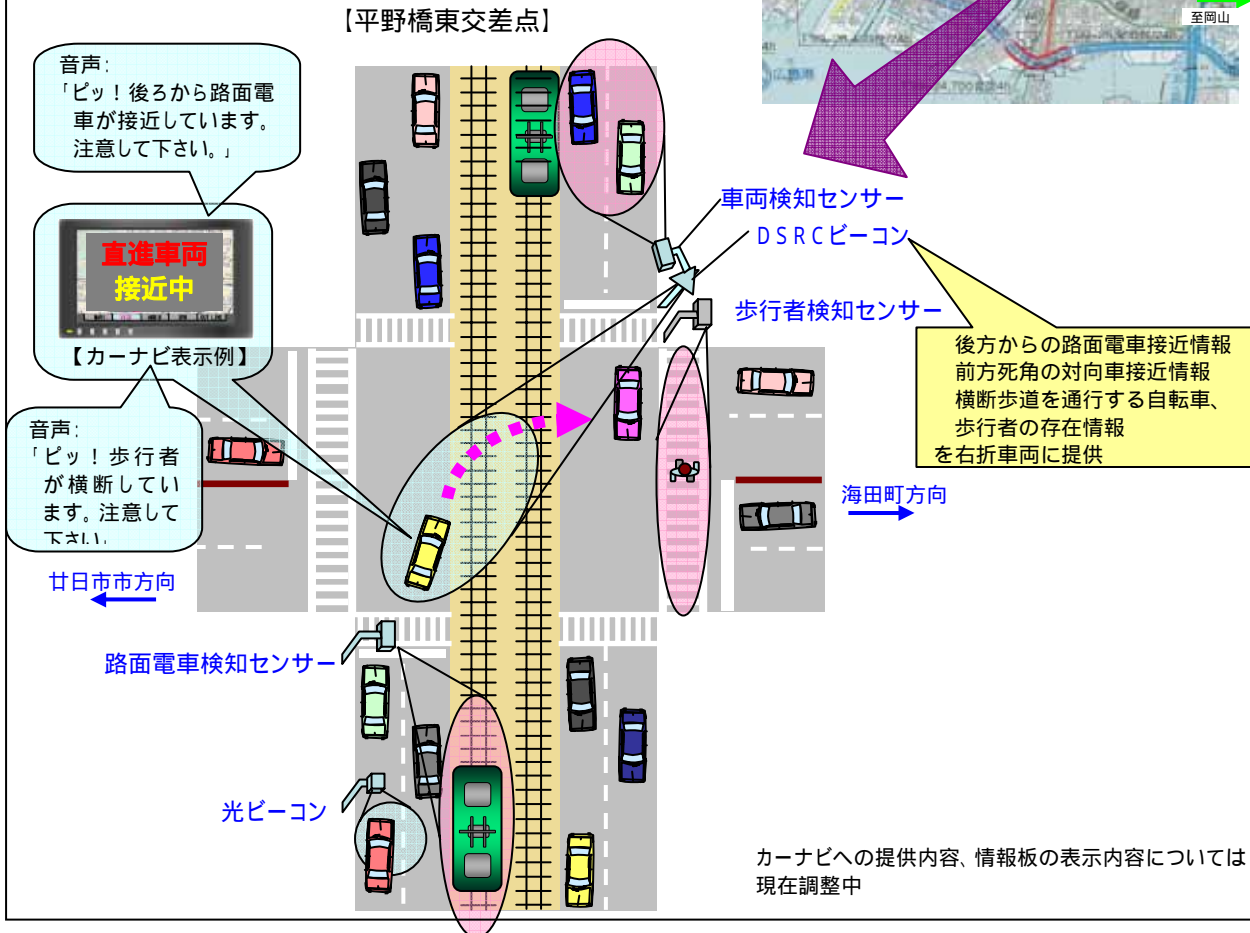
見通しの悪い区間で前方に存在する停止・低速車両をセンサーで検知し、その情報を道路情報板で提供し、後続車に注意喚起を行う。



【右折時衝突防止支援システム】

交差点手前に設置した光ビーコンから受信した交差点までの距離情報等を元に、右折車両に対し、後方から接近する路面電車や前方死角の対向車をセンサーで検知し、その情報をDSRCビーコンにより車載機に提供し、注意喚起する。

また横断歩道を通行中の歩行者、自転車をセンサーで検知し、その情報をDSRCビーコンにより車載機に提供し、注意喚起する。

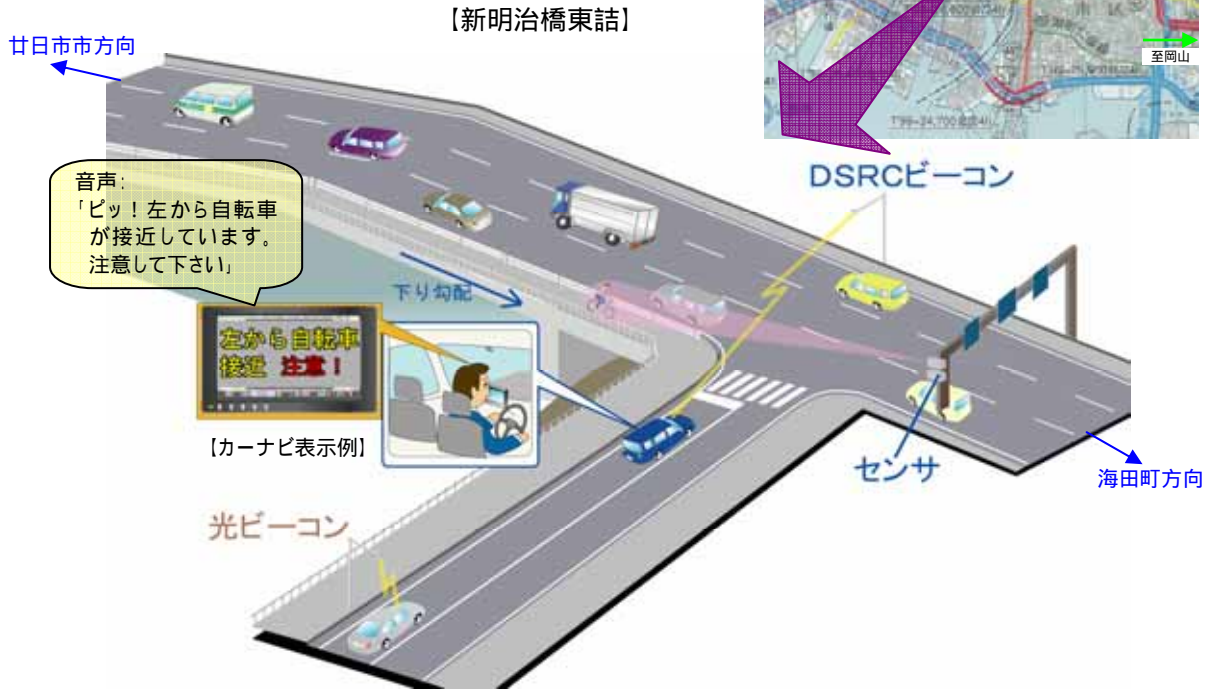


カーナビへの提供内容、情報板の表示内容については現在調整中

一般国道 2 号 新明治橋東詰、新明治橋(下り)

【出会い頭衝突防止支援システム】

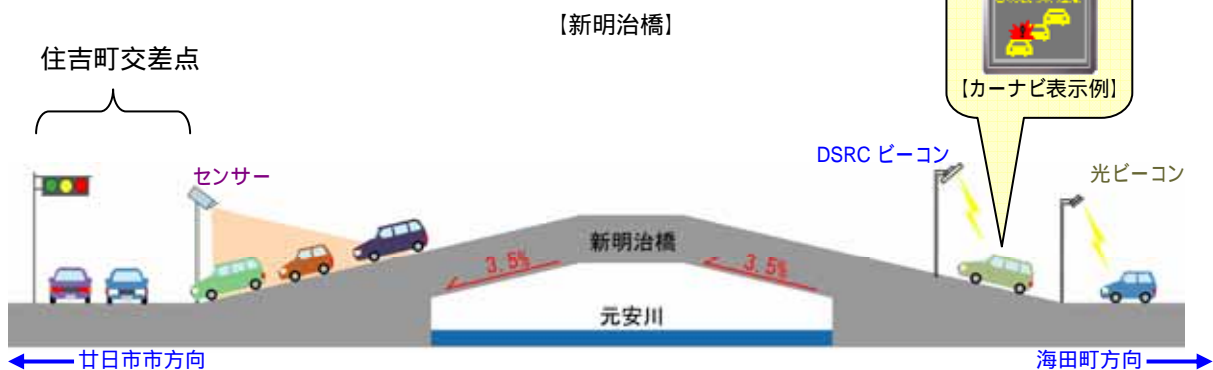
信号なし交差点において、光ビーコンで一時停止規制を注意喚起するとともに、交差する歩道を通行し、接近してくる歩行者、自転車をセンサーで検知し、その情報を DSRC ビーコンにより車載機に提供し注意喚起を行う。



【信号待ち車両追突防止支援システム】

見通しの悪い区間で前方に存在する信号停止・低速車両をセンサーで検知し、その刻々と変化する状況を後続車に対して、光ビーコンから受信した信号灯色や交差点までの距離情報を元に DSRC ビーコンにより車載機に提供し、注意喚起を行う。

音声: 「ビッ! この先停止車両あり。注意して運転して下さい。」



カーナビへの提供内容については現在調整中

直轄管理区間及び高速道路全域

【走行支援情報提供システム】

道路管理者の保有する通行規制情報、路面・気象情報、道路情報板の情報を車載機に提供する。



カーナビへの提供内容については現在調整中